

医師の非金銭的インセンティブに関する実証研究

佐野洋史、岸田研作

本稿では、過疎地の医師不足を解決するための基礎的情報を得るために、ヘドニック賃金アプローチを用いて医師の非金銭的インセンティブを分析した。回帰分析においては、データに複数年度分の『地方公営企業年鑑』を用いることで、病院ごとの個体効果を制御した推定を行った。推定結果は、交通の不便さや同僚の援助が得られない1人勤務体制、そして業務がハードであることを理由に、医師が過疎地域の病院を敬遠することを示した。本稿の推定結果の直接的な応用例としては、医師が彼らにとって魅力的でない要因を受け入れるのに必要な金額を示すことにより、過疎地における医師不足の解消に有効な補助金の算定への利用が考えられる。